

2023年3月期第2四半期決算説明会



2022年12月14日(水)

| 目次

- 1 2023年3月期 第2四半期 決算概要
- 2 2023年3月期 業績予想及び株主還元
- 3 “NE-24”中期経営計画 初年度
- 4 ESG(脱炭素社会)及びSDGs活動

2023年3月期第2四半期 決算ハイライト

➤ 増収・増益

- 売上高 6,515百万円(前年同期比11.2%増)
営業利益330百万円(前年同期比51.1%増)

➤ 経営環境

- 国内:新聞用紙・情報用紙の需要はコロナ禍以前の水準まで回復に至らない。
板紙・家庭紙は堅調。
- 海外:欧米は国内と同様であるが、アジア・南米等の需要は旺盛。
中国はロックダウンによる景気後退により需要が一時的に低迷。
- 原油価格高騰、急激な円安などにより原材料費・エネルギーコスト・輸送費上昇。

➤ 営業概況

- 国内、海外とも増収。期初計画していた販売数量も概ねクリアした。
- 世界的なインフレの進展でコスト増加圧力は強かったものの、国内フェルトの販売数量増や海外フェルト販売の選択と集中により高価格帯への移行、生産性向上、さらに為替円安効果により吸収。

詳細については、
P9「営業利益の増減分析」をご覧ください。

2023年3月期第2四半期 損益計算書

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減率	期初予想(5月13日発表)	
	2Q (実績)	2Q (実績)		2Q	増減
売上高	5,859	6,515	11.2%	6,060	7.5%
売上総利益	2,165	2,607	20.4%	—	—
営業利益	218	330	51.1%	70	372.2%
営業利益率	3.7%	5.1%	—	1.2%	—
経常利益	346	564	62.6%	120	370.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	270	450	66.5%	110	309.8%

セグメント別業績

売上高

(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	増減額	増減率
抄紙用具関連事業	5,599	6,241	641	11.5%
工業用事業	260	273	13	5.2%
調整額	—	—	—	—
連結	5,859	6,515	655	11.2%

営業利益

(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	増減額	増減率
抄紙用具関連事業	854	1,102	247	28.9%
工業用事業	40	32	△7	△18.0%
調整額	△676	△804	—	—
連結	218	330	111	51.1%

製品別売上高

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	増減額	増減率 (単位:百万円)
フェルト	3,262	3,591	329	10.0%
ベルト	2,248	2,549	300	13.4%
工業用その他	348	374	25	7.4%
合計	5,859	6,515	655	11.2%

製品		概要
フェルト	販売数量 増	国内のソリューション営業等の推進及び海外における代理店の 変更などの販売体制の強化により、販売数量増。 加えて為替の影響により増収。
ベルト	販売数量 減	得意先における抄紙用具の在庫調整等の影響により、海外向け ベルトは販売数量減。為替の影響により増収。 国内は数量・金額ともに微増。
工業用	販売数量 増	高温成型用の耐熱緩衝材の販売数量が増加したことにより増収。

仕向地別売上高

	2022年3月期2Q	2023年3月期2Q	増減額	増減率
日本	2,827	2,914	87	3.1%
北米	456	737	281	61.7%
欧州	689	806	117	17.1%
中国	919	790	△128	△14.0%
その他の地域	967	1,264	297	30.7%
合計	5,859	6,515	655	11.2%

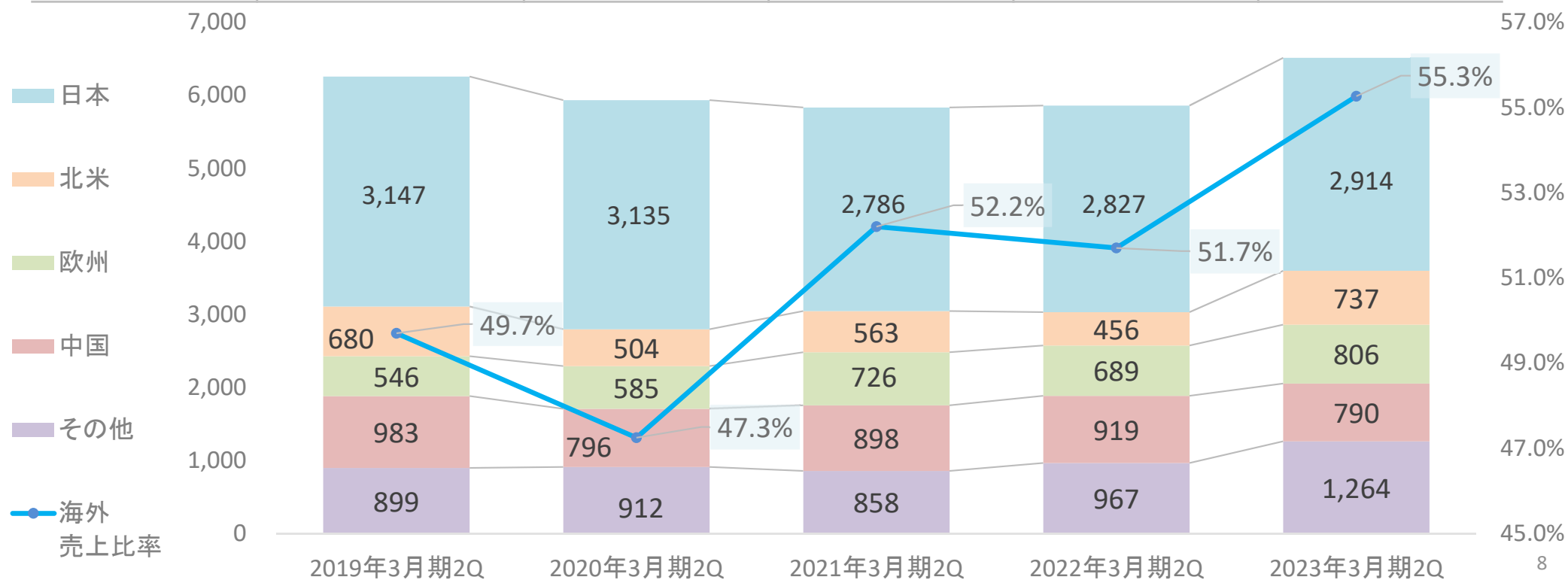
(単位:百万円)

地域	概要
日本	ソリューション営業等の推進による競争力強化。
北米	板紙向けの需要増によるフェルトの増販及びドル高の影響。
欧州	衛生用紙向けベルトの拡販及びユーロ高の影響。
中国	上海ロックダウン、取引先の工場操業停止等による販売減。
その他の地域	衛生用紙向けベルトの拡販及びドル高の影響。

仕向地別売上高推移

(単位:百万円)

	2019年3月期 2Q	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q
日本	3,147	3,135	2,786	2,827	2,914
北米	680	504	563	456	737
欧州	546	585	726	689	806
中国	983	796	898	919	790
その他アジア	899	912	858	967	1,264
売上合計	6,257	5,933	5,834	5,859	6,515



営業利益の増減分析

売上高

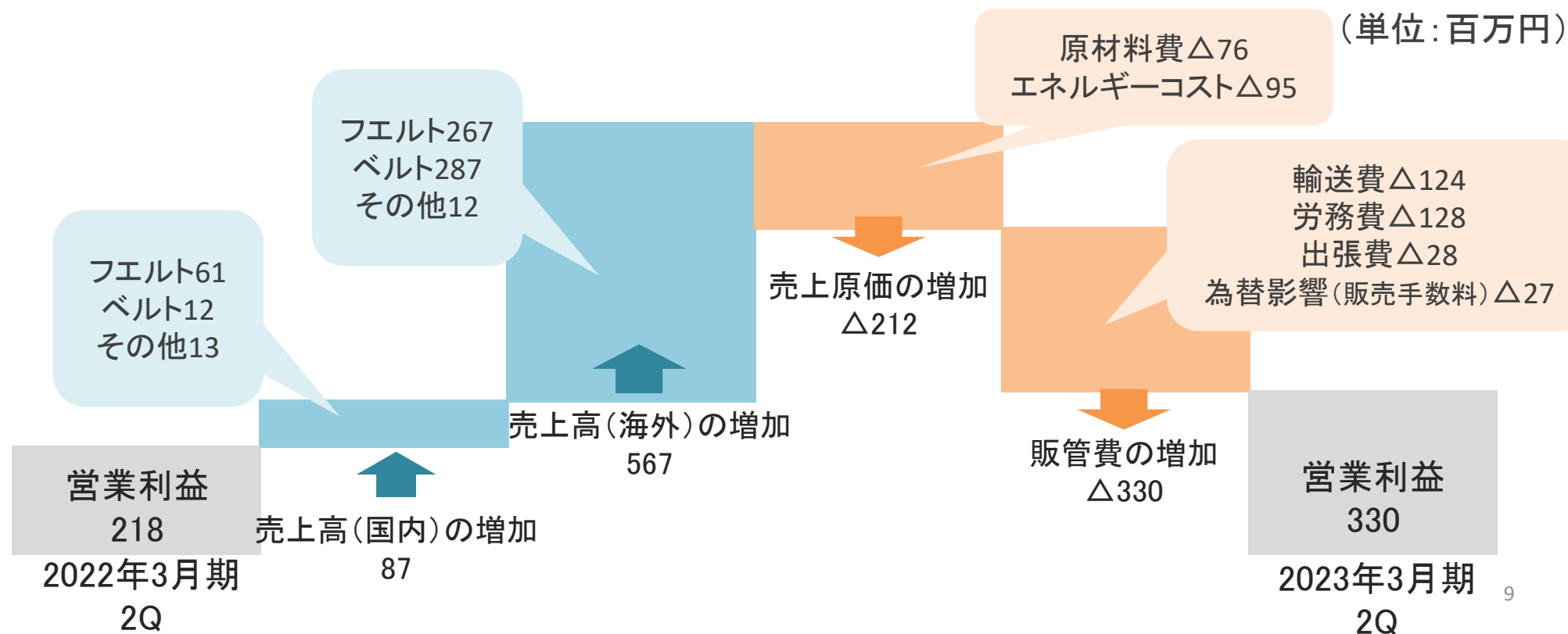
- 海外ベルトの販売数量の減少があったものの、国内フェルトの増販に加え、円安による海外の売上高増もあり増収。

売上原価

- 原材料費、エネルギーコストの上昇。

販管費

- 輸送費の上昇。
- 給与体系の変更により、一時的な労務費増。



貸借対照表

(単位:百万円)

	2022年 3月期	2023年3月期		変動要因
	期末	2Q末	前期末比	
総資産	25,732	26,050	317	
流動資産	12,213	13,056	842	現金及び預金433
有形固定資産	9,655	9,340	△314	機械装置及び運搬具△229
無形固定資産	88	67	△21	
投資その他の資産	3,775	3,586	△188	
負債 計	6,964	6,927	△37	
流動負債	2,919	3,040	120	
固定負債	4,044	3,886	△158	繰延税金負債△134
純資産 計	18,768	19,123	354	
株主資本	17,320	17,630	310	利益剰余金310
その他	1,447	1,492	△44	

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期		主な増減要因
		2Q	前年同期比	
営業活動による キャッシュ・フロー	778	597	△181	
投資活動による キャッシュ・フロー	△261	△114	147	有形固定資産の取得による 支出146
財務活動による キャッシュ・フロー	△189	△172	17	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,955	4,867	911	

(単位:百万円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q
設備投資	302	176
減価償却費	494	501
研究開発費	151	160

- ① 2023年3月期 第2四半期 決算概要
- ② 2023年3月期 業績予想及び株主還元
- ③ “NE-24”中期経営計画 初年度
- ④ ESG(脱炭素社会)及びSDGs活動

2023年3月期 業績予想(下期事業環境と重点取組)

事業環境

国内

新聞用紙・印刷情報用紙の需要は減少するも、板紙・衛生用紙等の需要は横ばいと見込む。

海外

洋紙は引き続き減少傾向も、板紙・家庭紙の需要は堅調、中国の回復は遅れると見込む。

為替レート

ドル:130円、ユーロ130円 (期初予想 ドル:118円、ユーロ:126円)



下期重点取組	上期進捗
① 生産性向上による製造コスト低減。	○
② 国内のソリューション営業の推進、海外における販売代理店の機能強化及び新規代理店の登用。米国における用具業界に精通した人財の招聘による販売力強化。	◎
③ 原材料費・エネルギーコスト・輸送費上昇対応として製品の値上げ交渉の実施。	○
④ 品質向上及び製品開発力強化(シーム、ベルト新樹脂)。	○



上期結果や、下期事業環境及び重点取組の進捗を勘案し、
通期業績予想を上方修正

2023年3月期 業績予想(下期のポイント)

◆ 売上

製品		見通し	概要
抄紙用具関連事業	フェルト	増収	国内 確実な受注獲得及び製品価格の値上げ。
			海外 北米・その他の地域の板紙向け需要の獲得。 為替の影響。
	ベルト	増収	国内 確実な受注獲得により販売数量の維持。
			海外 北米・その他の地域における販売体制強化。 為替の影響。
工業用関連事業	工業用	増収	5G関連の高温成型用の耐熱緩衝材の受注増。

◆ 利益

原材料、エネルギー、輸送等のコスト上昇により、売上原価、販売費及び一般管理費が増加する中、生産性向上、コスト削減及び販売価格の引上げ等により増益の見込み。

2023年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期金額		修正予想比	
		期初予想	修正予想※	増減額	増減率
売上高	12,355	12,600	13,000	644	5.2%
抄紙用具関連事業	11,840	12,051	12,420	579	4.9%
工業用事業	514	548	579	64	12.5%
営業利益	531	440	600	68	13.0%
経常利益	758	500	1,000	241	31.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	523	320	700	176	33.6%
一株当たり当期純利益	114.45円	69.90円	152.90円	—	—

(※ 2022年10月28日に業績予想の修正開示をした。)

売上高予想

製品別

製品別	2022年3月期	2023年3月期 修正予想	増減額	(単位:百万円)
				増減率
フェルト	6,811	7,307	495	7.2%
ベルト	4,848	4,951	103	2.1%
工業用その他	695	740	45	6.4%
合計	12,355	13,000	644	5.2%

仕向地別

仕向地別	2022年3月期	2023年3月期 修正予想	増減額	(単位:百万円)
				増減率
日本	5,914	6,075	160	2.7%
北米	968	1,346	378	39.0%
欧州	1,438	1,433	△5	△0.3%
中国	1,872	1,763	△108	△5.8%
その他の地域	2,161	2,380	219	10.1%
合計	12,355	13,000	644	5.2%

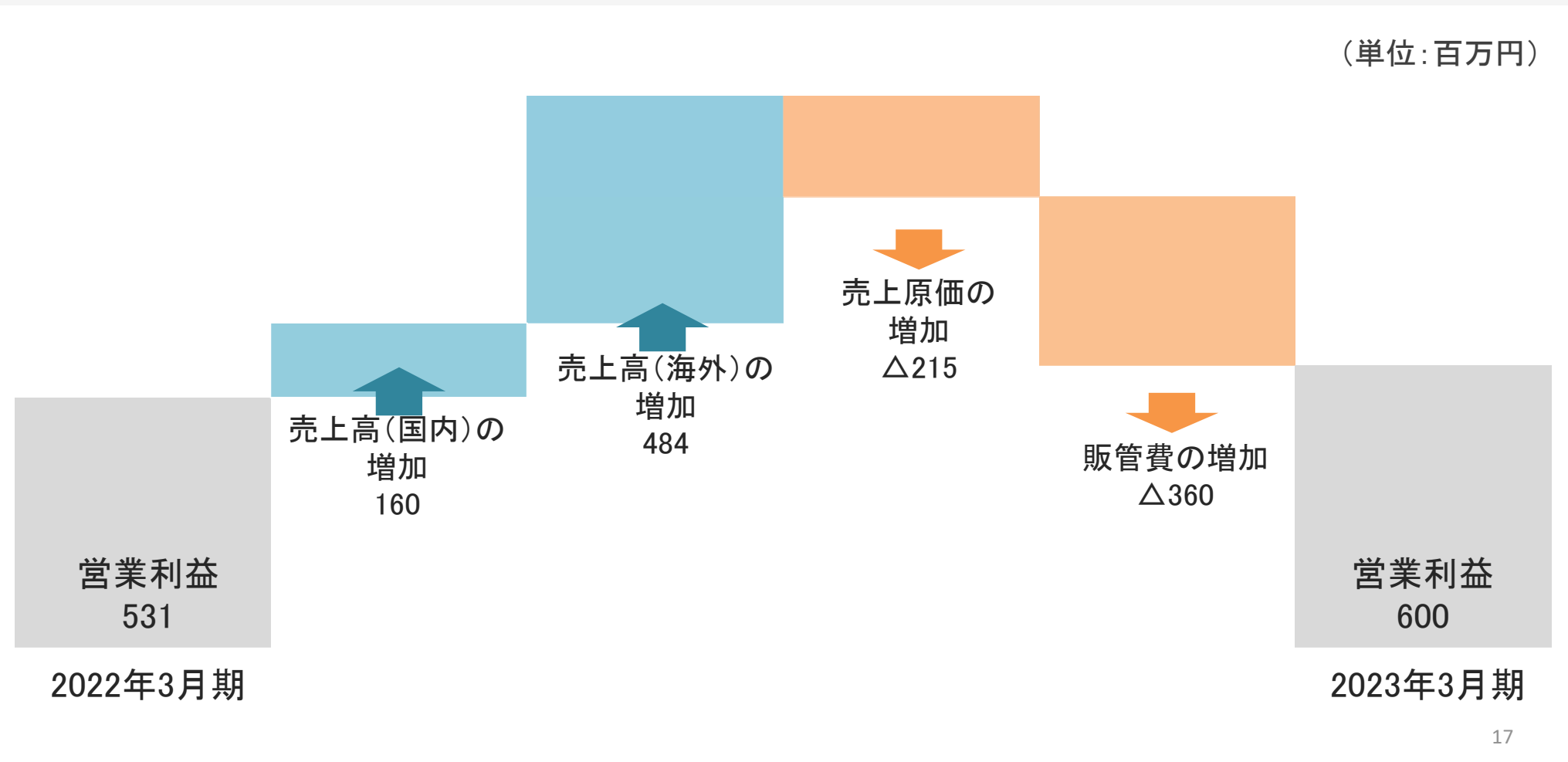
営業利益予想の増減要因

売上高

- 国内、海外とも、フェルト・ベルト・工業用が増収見通し。
- 国内外フェルト価格の値上げを見込む。

売上原価・販管費

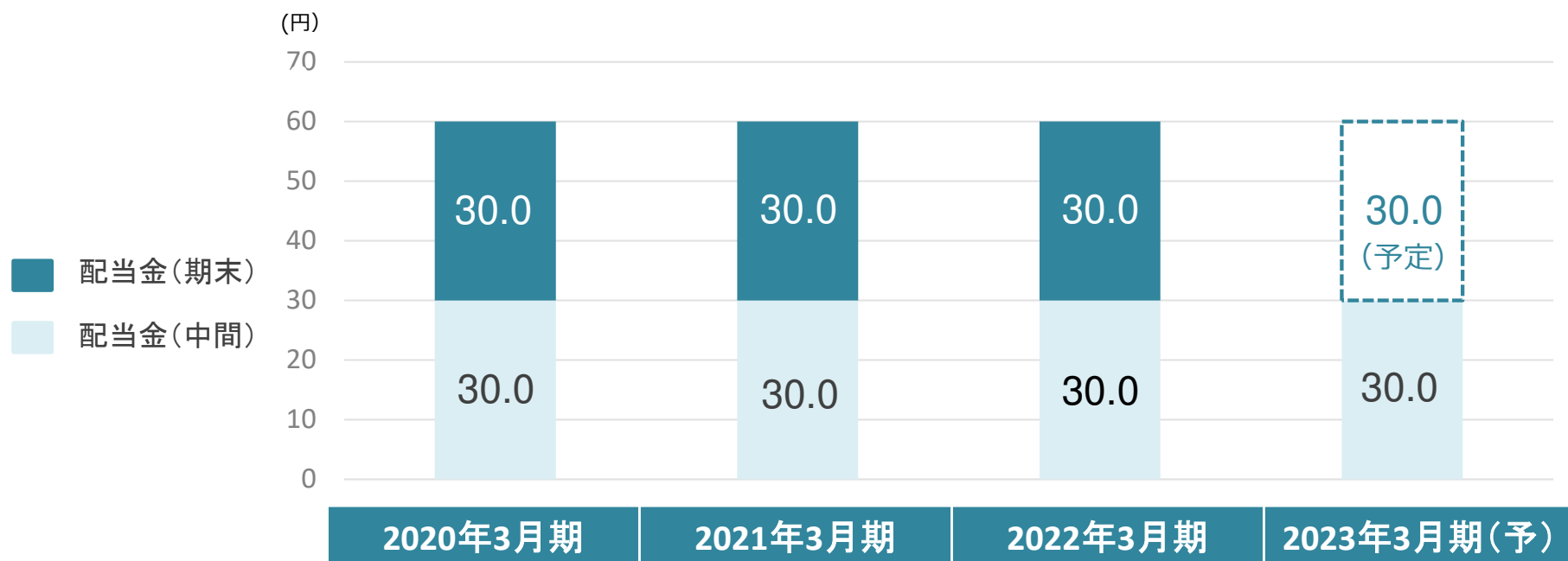
- 費用増も、原材料・エネルギー・輸送コストの上昇ペースは鈍化の見通し。



株主還元

当社配当方針

- 安定的かつ積極的な利益還元
- 配当性向: 1株当たり連結当期純利益の30%以上を目途

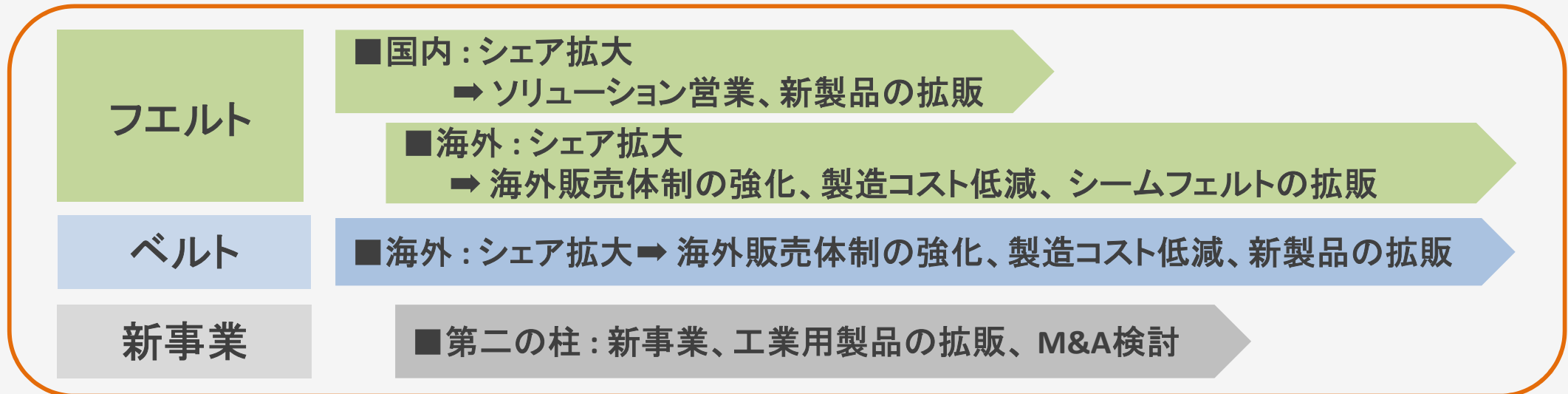
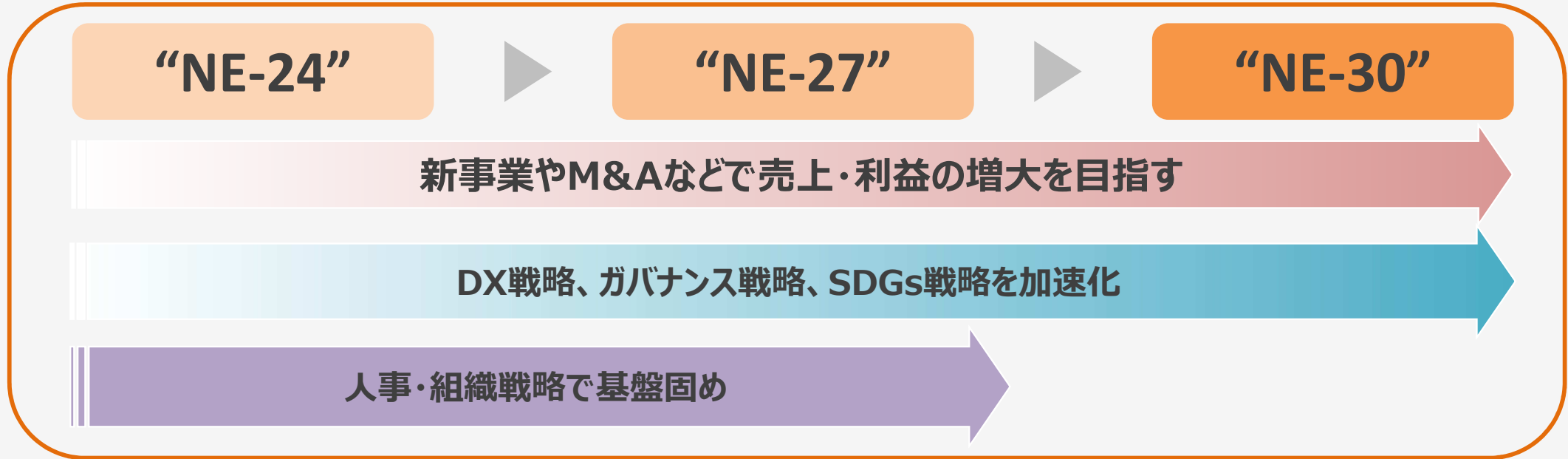


親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	358	369	523	700
EPS(円)	77.67	80.80	114.45	152.94
配当性向(%)	77.2%	74.3%	52.4%	39.2%

- ① 2023年3月期 第2四半期 決算概要
- ② 2023年3月期 業績予想及び株主還元
- ③ “NE-24”中期経営計画 初年度**
- ④ ESG(脱炭素社会)及びSDGs活動

IK VISION 2030

新たな価値創造への戦略全体像



中期経営計画 “NE-24”

重要課題の状況

	人事組織戦略
抱える課題	事なかれ主義、守旧的社風、縦割り組織
目指す姿	① 挑戦意欲が高く心理的安全性の高い職場の構築。 ② 全体最適の組織運営。
解決施策	① 経営計画を実現する効率的組織への転換と人財のポートフォリオ管理。 ② ジョブ型人事制度導入による意識改革と若手リーダー層の抜擢による組織の活性化。 ③ キャリアデザインを実現する自己啓発とそれを支援する教育プログラムの充実。 ④ 外部セミナーへの積極的派遣による他社との接触機会の増加。 ⑤ 外部人財の積極的登用による新しい価値観の導入。 ⑥ DXの推進による製造現場と事務系職場の労働生産性の向上。
上期進捗評価	◎ 管理職へのジョブ型人事制度は導入済。実効性を高める段階へ。 ◎ 人財教育の充実は一定の進捗。 ◎ 組織戦略は一定の進捗。

中期経営計画 “NE-24”

重要課題の状況

	DX戦略
目指す姿	2030年;CX(新しい価値を提供できる会社)の実現 ➡ “NE-24”は準備期間とする ① 製造現場と事務系現場の労働生産性を向上させる。 ② データドリブンな会社となる。 ➡ データをベースとした企業経営
解決施策	① データを利用する目的の確定と現在会社が持つデータの点検。 ② RPAの導入。 ③ ERP導入の準備。 ④ DX教育の実施。データサイエンティストの育成。
上期進捗評価	◎ 一定の進捗。サイバー大学への派遣。

中期経営計画 “NE-24”

重要課題の状況

	国内営業
抱える課題	国内需要の減少
目指す姿	国内需要が低下傾向下での一定販売数量の確保。
解決施策	① 海外登用人財と外部アドバイザーによる営業力・技術サービス力の引上げ。 ② 地域密着型営業(ローカル担当制)によるサービス力の向上。 ③ 新製品開発(シーム、顧客の省力化、操業安定への貢献)。 ④ 原料と設計の統廃合による品質安定性の向上。
上期進捗評価	◎ 施策の進捗により販売量は期初予算通り進捗
	海外営業(ベルト部門)
抱える課題	コスト競争力と世界シェアの拡大、維持
目指す姿	① ベルト世界シェア1位の確立。 ② トランスファーベルト世界シェア1位の堅持。
解決施策	① 海外登用人財を活用した営業力の強化及び更なる人財の増強。 ② 海外登用人財活用等による新設マシン需要の獲得。 ③ 開発体制と販売体制の強化。 ④ 納期とデリバリー体制強化。
上期進捗評価	◎ 米国販社で経験者採用、アジア代理店網の再編成

中期経営計画 “NE-24”

重要課題の状況

	海外営業(フェルト部門)
抱える課題	コスト競争力と新製品開発力
目指す姿	「グローバル10」;(2030年目標)フェルト世界シェア10% 《 製造コストを低減すると共に新製品を開発しベルトの商流に載せ積極拡販 》
解決施策	① 原料と設計の統廃合による品質安定性の向上。 ② 新製品の開発(シーム、顧客の省力化、操業安定への貢献)。 ③ 「グローバル10」を視野に入れた販売体制と納期対応力の強化。
上期進捗評価	◎ 海外市場拡販の段階には至らず(計画通り各施策進捗中)
	生産/技術
抱える課題	フェルト・ベルト製造コスト低減と顧客が求める製品の開発
目指す姿	① 世界標準の製造コストで提供できる体制。 ② プレスパートに特化した開発体制による競争力のある企業。
解決施策	① 外部人財登用による、世界標準の工程・製法の確立と原料・設計の統廃合。 ② 高機能マシンの最大活用による生産性向上。 ③ 顧客の省力化、操業安定に寄与する新製品の開発。 ④ 開発体制の強化。
上期進捗評価	◎ 計画通り進捗中(開発体制の再編実施中)

中期経営計画 “NE-24”

重要課題の状況

工業用事業(ITF)・新事業

抱える課題	当社保有技術応用による製品展開の停滞
目指す姿	2030年までに工業用と新事業で30億円の増収目標
解決施策	① 他業種・他業態・外部機関との関係構築による情報ネットワークの拡大と緊密化。 ② 自社保有技術の強み・希少性等を再評価し市場ニーズを掘り起こす。
上期進捗評価	◎ 自社保有技術の棚卸、応用可能性の検討 ◎ 大学・研究機関との連携強化等 ◎ 展示会出展により問い合わせ多数 ◎ 新事業の具現化へ計画通り進捗中



500℃以上の高温で成型されたアルミ材に傷・歪みをつけず搬送
→高耐熱性、搬送性に優れる



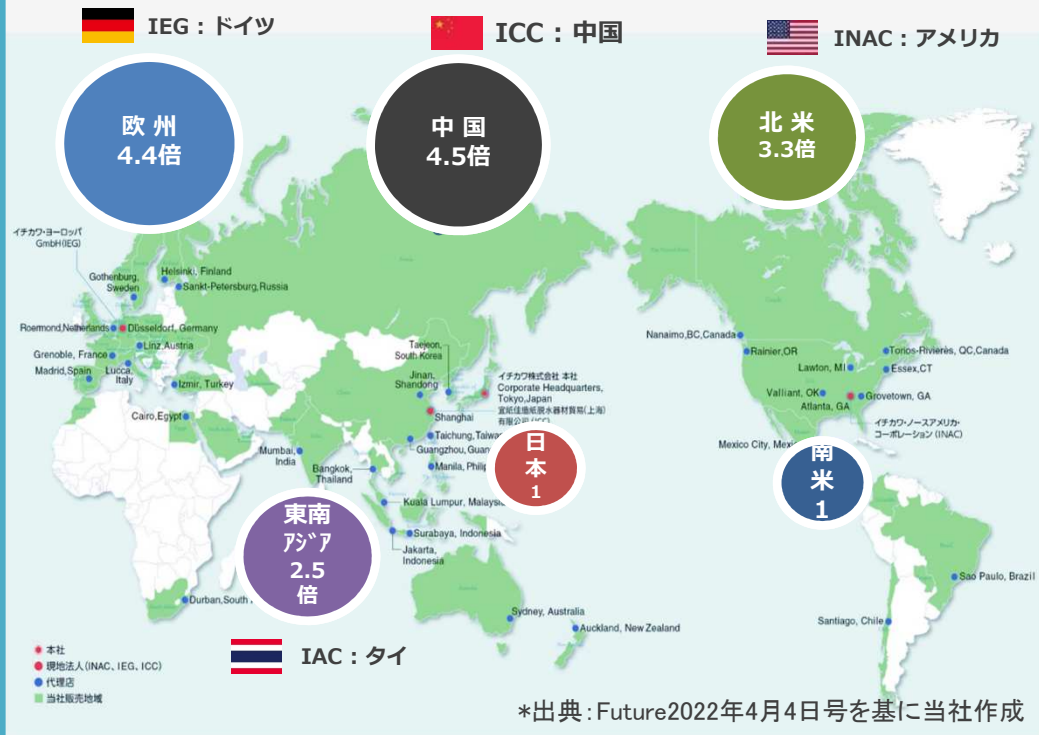
プリント基板や建材などを高温でプレス・成型する際に使用
→高耐熱性、クッションの持続性に優れる

海外成長戦略 ①

主要市場(日本・北米・欧州・中国・アジア)に拠点を置いた「グローバルな販売体制」と「抄紙プレスパート全用具製造会社」としての強みを活かし、世界市場を開拓する。
納期・デリバリーの最適化を検討する。

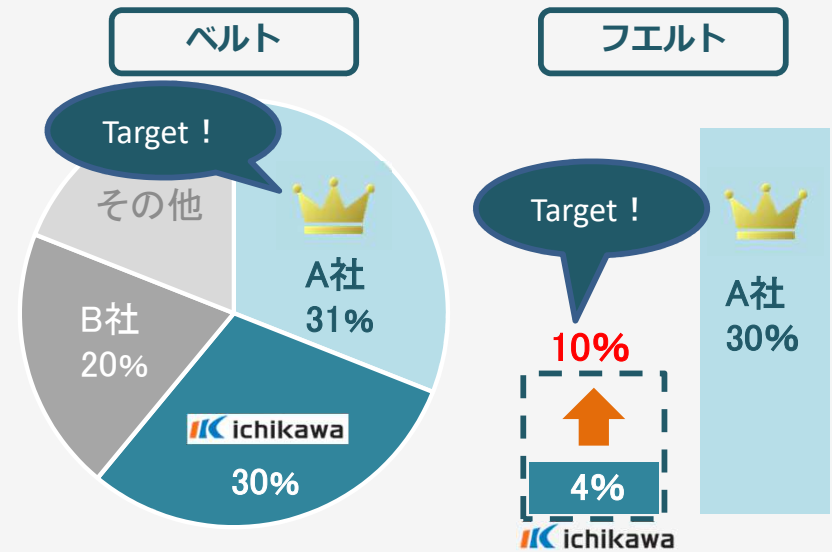
👉 日本市場を基準とすると:東南アジア2.5倍、北米3.3倍、欧州地区4.4倍、中国4.5倍
南米1倍。インド市場を調査して市場を開拓

世界の紙・板紙生産量の地域分布図 (日本を「1」とした場合)



※販売実績がある地域は緑色で表示

当社のシェア立ち位置



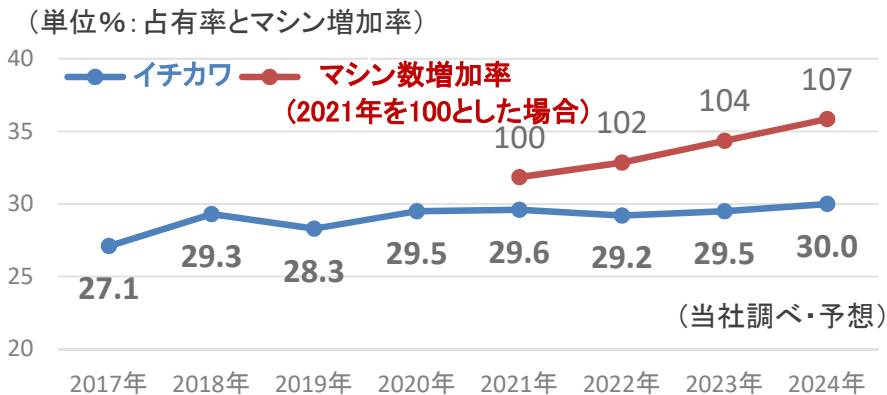
ベルト事業シェア世界一を確立し
フェルト事業を拡大「グローバル10」
(2030年目標)

《 真のグローバル企業を目指す 》

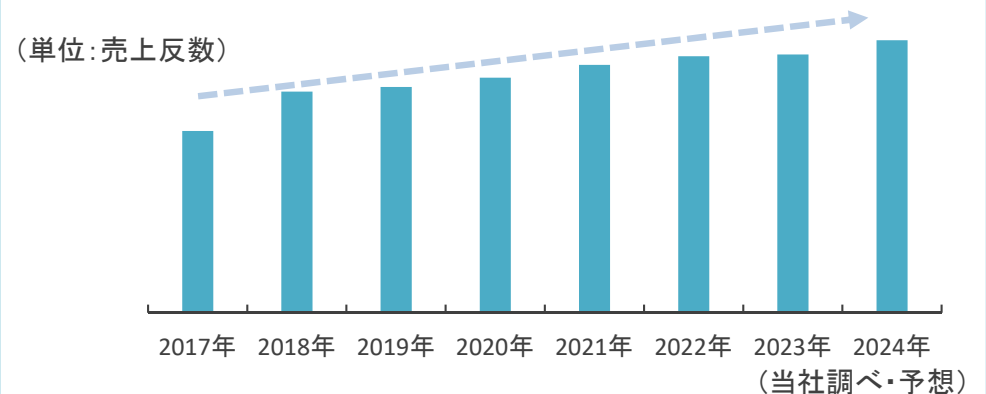
海外成長戦略 ②

ベルト; 世界市場シェアは着実に増加

海外シュープレスベルト(ショートベルト)占有率
2024年度に世界シェア1位(同等)



海外トランスファーベルト
8期連続で販売数量アップ・世界シェア1位



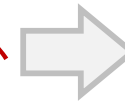
フェルト; 高い評価を受ける「ベルトの商流」に載せて、世界のフェルト市場へ
〈40カ国以上 約410工場との取引〉

- ・生産性向上施策の実施を通じて製造コストを低減し、その結果としての製品収益力向上を背景にして、拡販期に移行する。
- ・「板紙」及び「家庭紙」用シームフェルト開発による拡販を志向する。
👉 **世界の家庭紙フェルト市場への拡販** (日本の20倍以上のマーケット「150万kg」)

- ① 2023年3月期 第2四半期 決算概要
- ② 2023年3月期 業績予想及び株主還元
- ③ “NE-24”中期経営計画 初年度
- ④ **SDGs活動及びESG活動(脱炭素社会)**

- 経営の重要課題と位置付け活動を活発化、環境負荷の低減を目指す。
- 地域密着での持続的成長を指向し、製紙業界が目指すゼロカーボンの加速化に貢献していく。

- 👉 環境に優しい紙づくりへの貢献
- 👉 プレス工程で使用される抄紙用フェルト、抄紙用ベルトの機能を向上
- 👉 地域社会との関係性の再点検



抄紙工程の
CO2削減に大きく貢献

• SDGs活動と取り組み

- 👉 SDGs17目標のうち11の項目を網羅し、持続的な社会への貢献



SDGs活動の実施状況



環境対策



- 温室効果ガスの削減：カーボンニュートラルの早期達成
 - ・コージェネレーションシステムの廃熱利用拡大
 - ・太陽光発電設備の拡大
- 循環型社会の推進：再資源化率80%以上達成
 - ・固形燃料化(RPF)、再資源(紙類など)、有価物(金属類)
 - ・梱包資材やポリ袋等の再生プラスチック製品への転換
- フードロスの削減：両工場の食堂で実施

社会貢献



- 「柏市と防災協定」の締結
- 茨城県：「クリーンアップひぬまネットワーク」への参加
- 千葉県：「ちばSDGsパートナー」に登録
- 社会福祉法人によるパン販売及び寄附の実施
- Table for Twoの導入(1食20円を途上国に寄附)

働き方とダイバーシティ



- SDGs委員会メンバーに女性5人が参加し、活躍中
- 女性管理職育成としての外部研修派遣2名
- 全社員向けの無意識バイアス研修の実施等(思い込み、偏見解消)

- ・ 「太陽光発電設備」の稼働(700kw)



- ・ 災害時に約9.6万人/日相当の水を提供



- ・ 工場食堂でのパンの販売及び寄附



- ・ 潤沼(ラムサール条約登録湿地)の清掃活動参加



- ・ 「ちばSDGsパートナー」として活動



環境対策(ESG)：脱炭素社会への貢献

温室効果ガス(GHG)排出量の削減

＜日本政府の方針＞ 2030年までに2013年度比CO2の排出量を46%削減。

👉 2022年度に“56%削減”を達成予定

Scope1・2；自社排出分の削減

Scope 1 (燃料の使用、生産プロセスで排出)

👉 省エネ活動によるエネルギー使用量の削減

- ・生産工程の効率化
- ・高効率機器への更新
- ・グリーン熱証書等の都市ガスの検討

Scope 2 (購入電気・熱の使用に伴う間接排出)

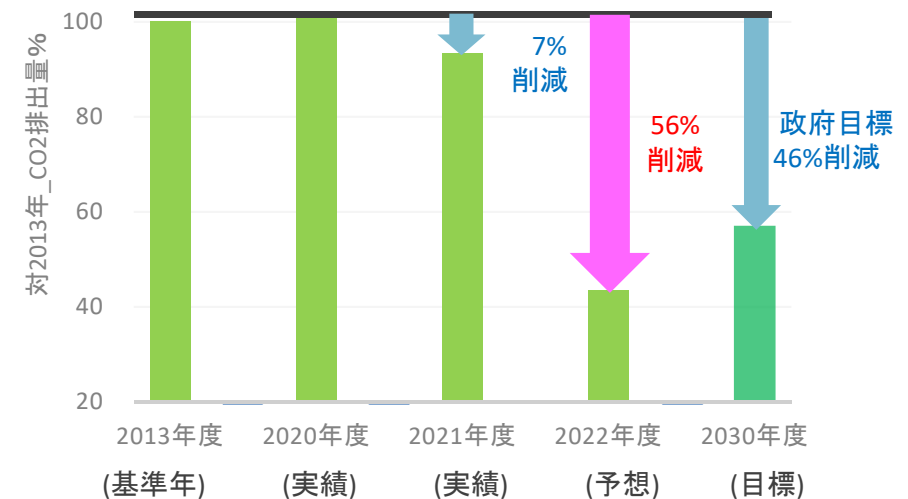
👉 2022年4月 “CO2排出量ゼロ達成”

- ・太陽光発電設備の稼働(岩間工場・柏工場)
- ・全事業所の購入電力にCO2フリー電力100%完了

Scope3；その他の間接排出量

- ・購入した原材料、製品、製品輸送、当社事業から排出される廃棄物等に起因する温室効果ガス排出に関しては、関連事業者と協働して、削減策に取り組みを継続中。

【CO2排出量目標】 (Scope1・Scope2の合計排出量)



投資戦略

＜2030年までの基本的な考え方＞

持続的な企業価値向上に向けて積極的に投資を展開

用具事業設備投資

- 生産能力増強
- 生産性向上
- メンテナンス投資
- 納期、デリバリー投資



工業用及び新事業投資

- 工業用拡大投資
- 保有技術応用投資
- 新規事業投資
- M&A投資



人財及びDX投資

- 社員スキル教育強化
- 外部機関への派遣
- 国内外専門人財の採用
- DX関連投資



参 考 资 料

会社概要

会社名	イチカワ株式会社 (ICHIKAWA Co., Ltd.)
設立	1949年11月21日
本社	東京都文京区本郷二丁目14番15号
事業内容	抄紙用フェルト、抄紙用ベルト、スレート用フェルト及び 工業用フェルトの製造・販売
売上高	12,355百万円(2022年3月期)
資本金	3,594百万円
決算期	3月31日
連結子会社数	7社(国内3社・海外4社)
従業員数	692名
上場市場	東京証券取引所市場「スタンダード」
証券コード	3513
発行済株式総数	4,967,151株
単元株式数	100株

2022年9月30日現在

沿革

年月	内容
1949年11月	市川毛織(株)設立(本社:千葉県市川市)。
1964年7月	柏工場(千葉県柏市)を新設、ニードルフエルトの製造を開始。
1984年11月	米国現地法人 イチカワ・ノース・アメリカ・コーポレーション(INAC)を設立。
1988年4月	シュープレス用ベルト第1号をアメリカに輸出。
1996年4月	岩間工場(茨城県笠間市)を新設。
1998年7月	シュープレス用ベルトの開発で紙パルプ技術協会から「佐々木賞」を受賞。
2000年3月	環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得(柏工場)
2001年10月	ドイツ現地法人 イチカワ・ヨーロッパGmbHを設立。
2002年12月	トランスファー用ベルトを販売開始。
2003年3月	品質マネジメントシステム「ISO9001」認証取得
2005年4月	中国現地法人 宜紙佳造紙脱水器材貿易(上海)有限公司を設立。
2005年7月	イチカワ株式会社に商号変更。
2014年6月	シュープレス用ベルト新製品「Ichiriki」を販売開始。
2015年6月	抄紙用フェルト新製品「Zimoシリーズ」を販売開始。
2016年8月	シュープレス用ベルト新製品「Yawara」を販売開始。
2018年7月	タイ現地法人 イチカワ・アジアを設立。
2019年5月	環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得(岩間工場)

紙の製造に不可欠な

抄紙プレスパートのスペシャリストとして、

最高の品質を提供する

総合ソリューションカンパニーへ。

抄紙用フェルト

シュープレス用
ベルト

トランスファー用
ベルト

製紙会社が求めるプレスパートの操業に

最大の効果を発揮できる

3つの抄紙用具の組み合わせを

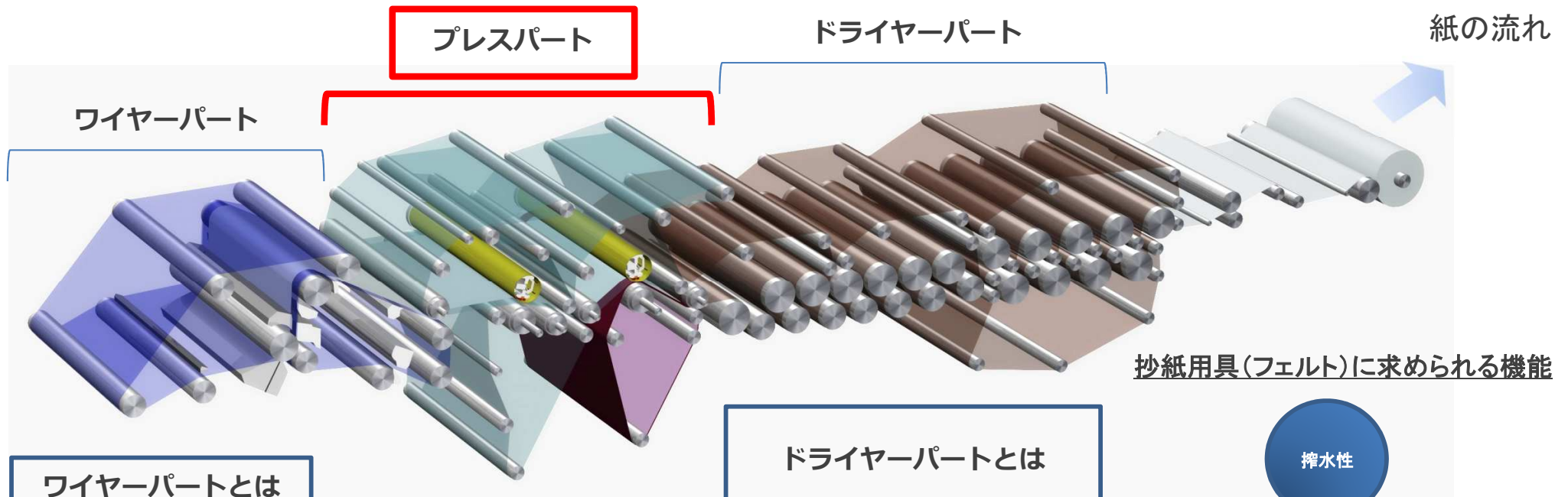
提案、提供が可能な日本で唯一、

世界でも数社しかない企業の一つです。

抄紙機の仕組み

製紙会社で紙の製造に使われる抄紙機について

抄紙機の最新モデル

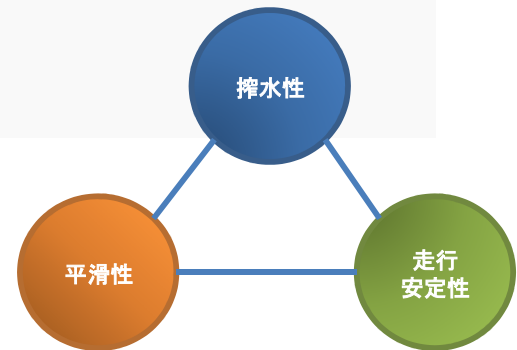


抄紙用具(フェルト)に求められる機能

ワイヤーパートとは
紙を抄くために使われる網(ワイヤー)であり抄紙機で最初に紙の原形を作る用具

プレスパートとは
湿紙の水分を搾ると同時に紙肌を滑らかにする役割。搾水性、平滑性、走行性で高いレベルが求められる重要なパート

ドライヤーパートとは
通気性のある網で水分を蒸発させるパート



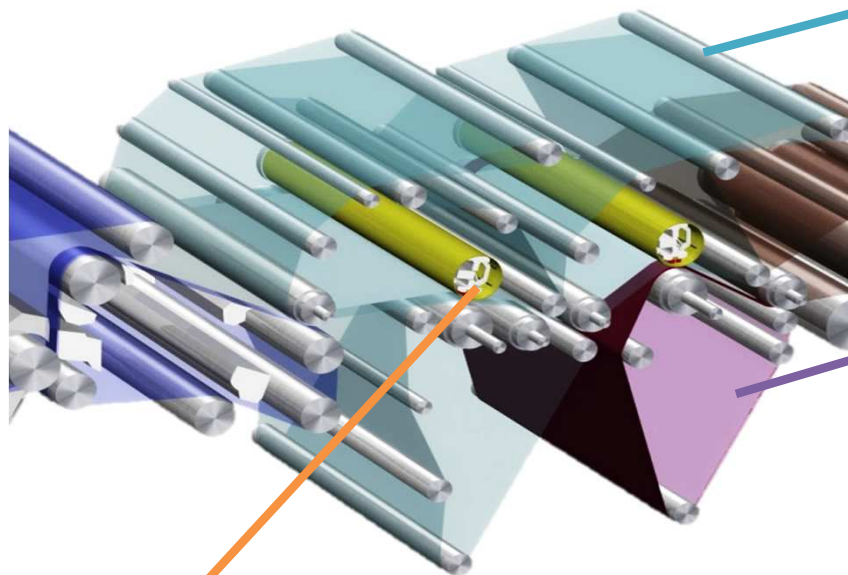
搾水性	平滑性	走行安定性
プレス圧によって湿紙の水分を搾り出す	シートの表面を滑らかに	フェルトの安定した走行で湿紙を運搬

製紙会社の操業性・エネルギー効率に影響紙・板紙の品質に影響

抄紙機のプレスパートに使用される

3つの製品をすべて開発・製造・販売

紙の流れ



抄紙用フェルト

ワイヤーパートから搬送されてきたシート(湿紙)の水分を搾ると同時に紙肌を平滑にする役割

トランスファー用ベルト

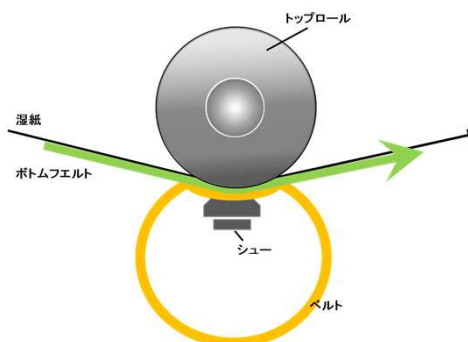
※
脱水後の再湿を抑え、省エネルギー化に貢献することと、平滑な紙肌を作る役割

※再湿・・・脱水した水が紙に戻る現象

シュープレス用ベルト

加圧下で変形に富むベルトにより、ロールよりもプレス面積を広くすることで脱水効率を高める役割

シュープレス(ベルト使用)

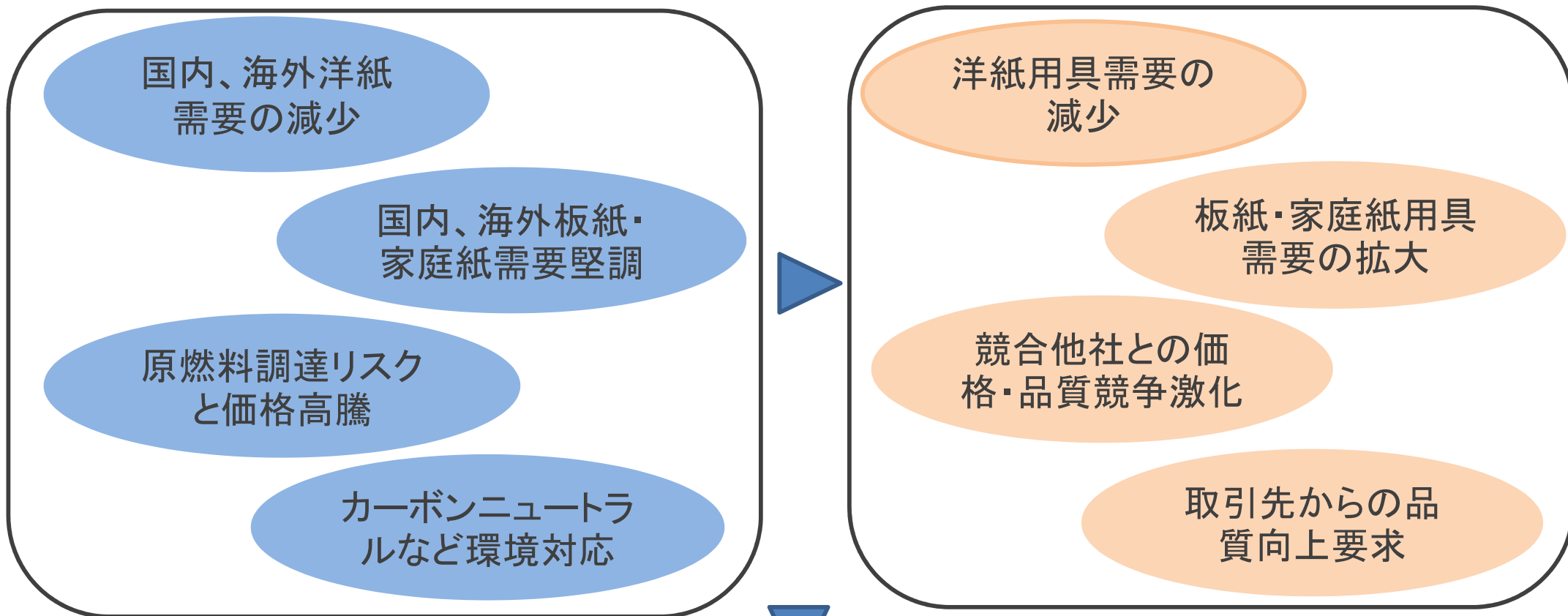


シュープレス用ベルト

抄紙用フェルト

トランスファー用ベルト

市場環境と当社への影響・課題



(当社の課題)

・国内市場
占有率向上
・海外市場開拓

・コスト競争力
組織力の
強化

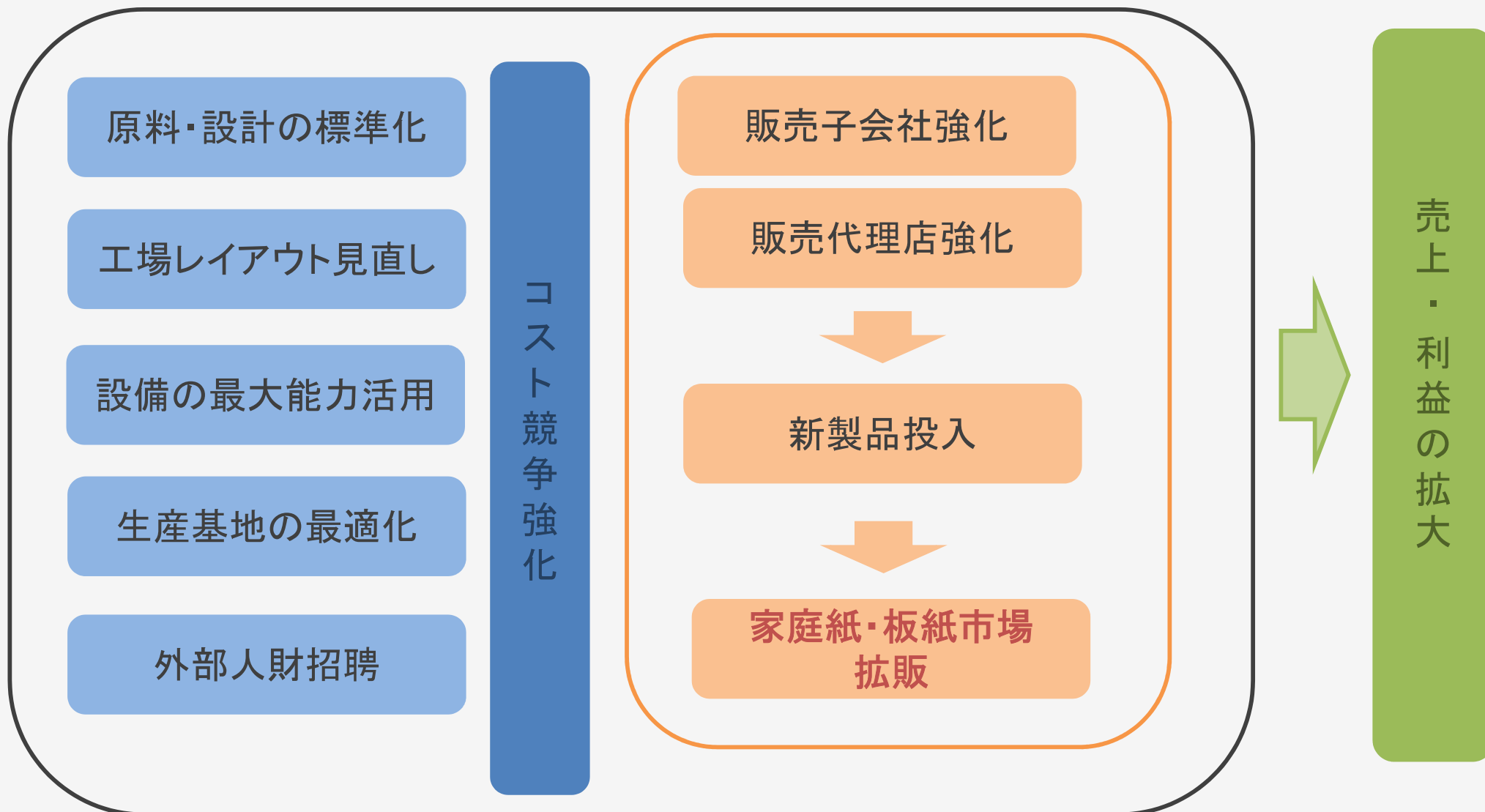
・取引先の省
力化、操業安
定への貢献



取引先カーボン
ニュートラルへの貢献
社会との共存
技術進捗

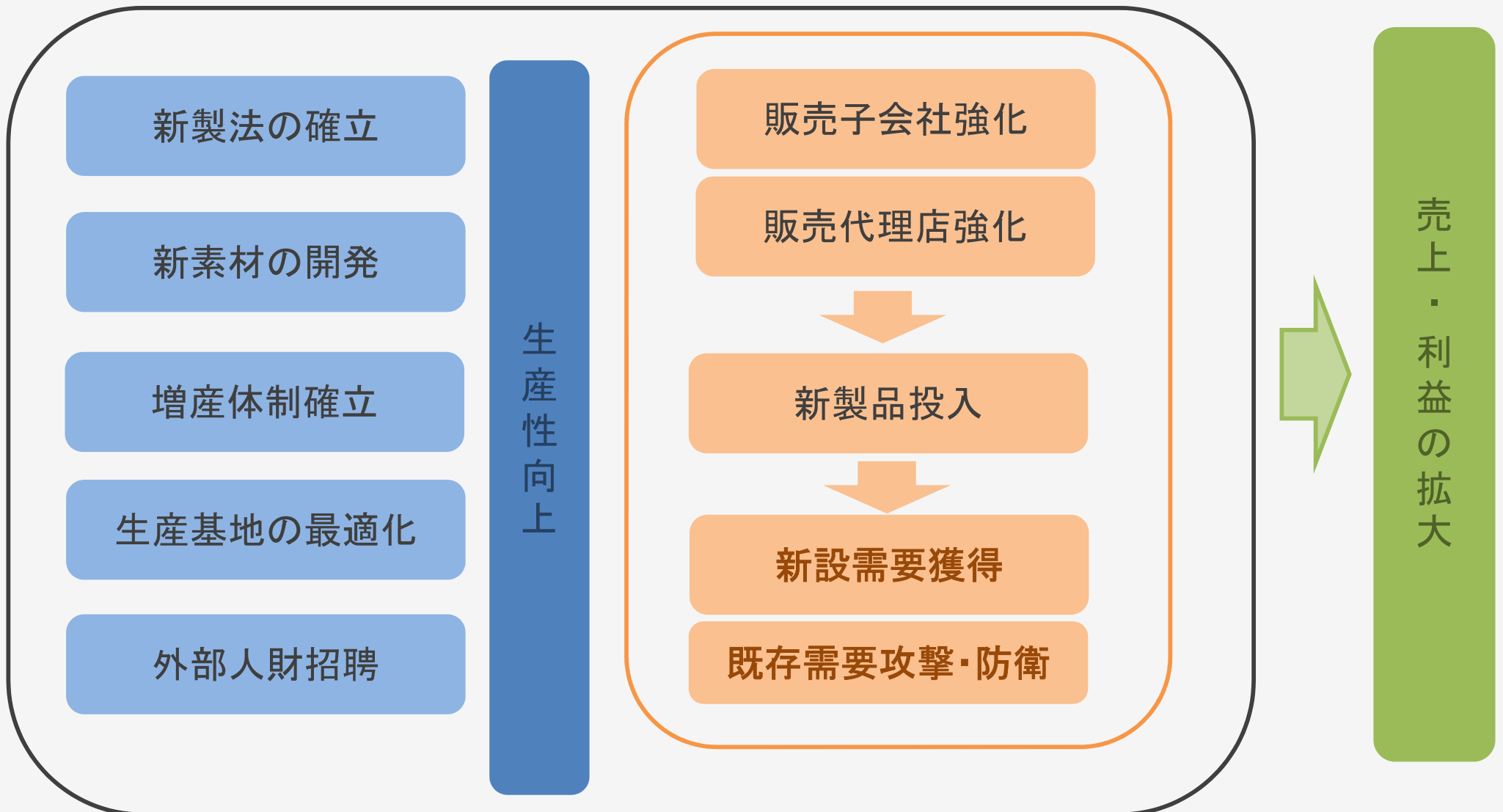
海外マーケット <フェルト>

コスト競争力及び営業力を強化し海外市場を開拓する



海外マーケット <ベルト>

生産性・コスト競争力及び営業力を強化し海外市場を開拓する



抄紙用具関連事業の主要得意先及び市場占有率

主要な得意先＝全世界の製紙会社

紙・パルプ関連売上 上位10社中7社へ販売

- 1位 インターナショナル・ペーパー (米)
- 3位 ウエストロック (米)
- 4位 王子ホールディング (日)
- 5位 スマフィット・カップ (アイルランド)
- 7位 UPM (フィンランド)
- 8位 日本製紙 (日)
- 10位 ストラ・エンソ (フィンランド)

国内

レンゴー
大王製紙
北越コーポレーション
三菱製紙

海外

(欧州) DS・スミス
(中国) 玖龍紙業、理文造紙、
山東晨鳴紙業、山鷹国際
山東太陽紙業
(東南アジア)
APP、サイアムセメントグループ

市場占有率**

国内





フェルト
2社でシェア2分
シュープレス用ベルト
第1位(約50%)
トランスファー用ベルト
第1位(約50%)

海外

シュープレス用ベルト
世界第2位(約30%)
トランスファー用ベルト
世界第1位(約50%)

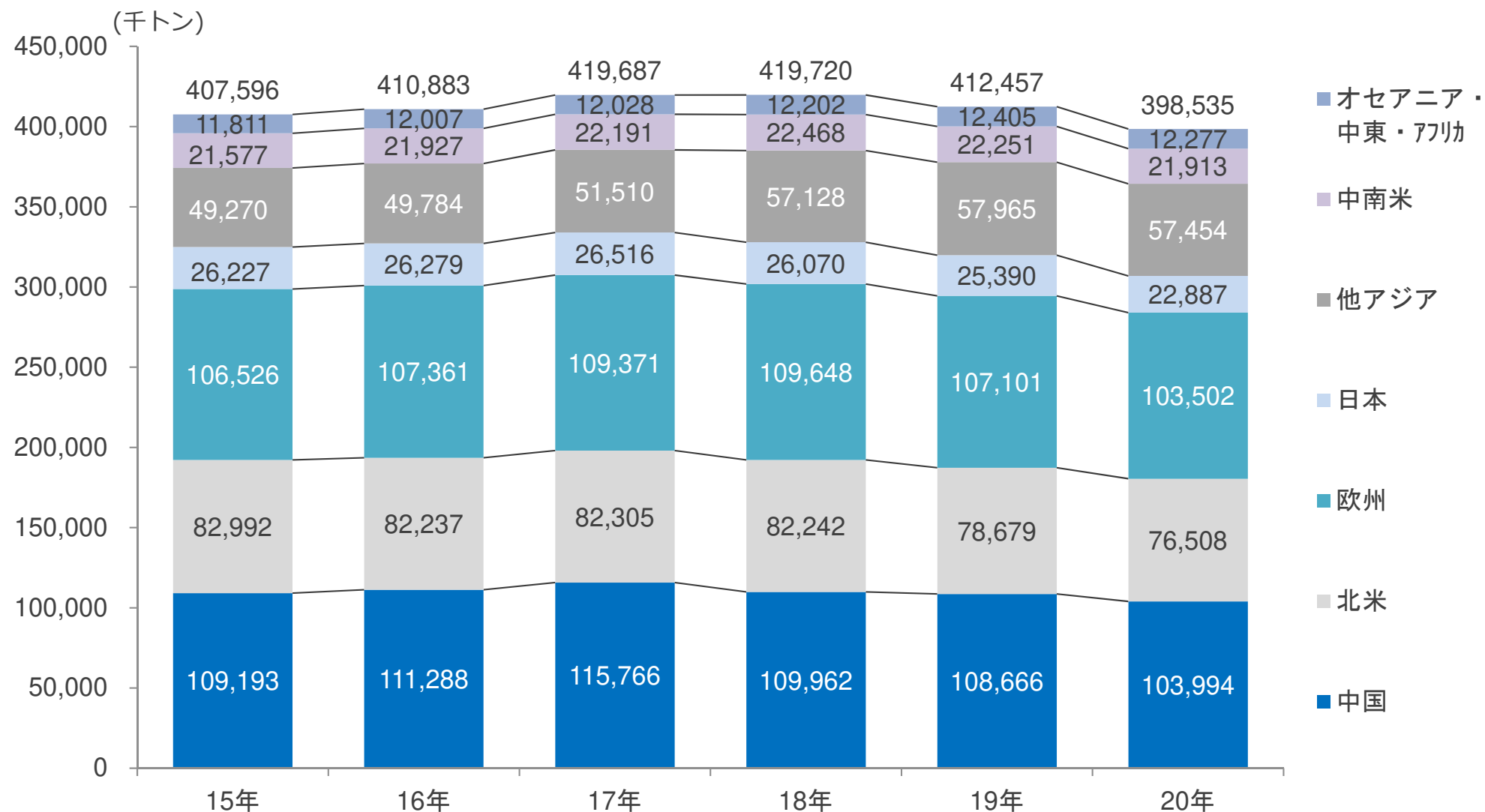
**当社調べ2022年3月現在

中期市場見通し

		今後の見通し
抄紙用具関連事業	板紙	国内外ともに世界的な通販市場の成長等により 需要は底堅く推移する見込み 。 (国内では食品業界向けの底堅さがある一方、プラスチックからの代替え需要にも期待。)
		
	家庭紙	国内外ともに衛生必需品であるトイレ紙やペーパータオル等の 需要は堅調 。 各社生産能力増強に動いている。
		
	洋紙	国内外ともにデジタル化等による縮小トレンドに変わりなし。 2022年以降も回復は見込めず 。各社既存生産設備の集約や板紙への転抄等構造改革推進中。
		
総括		景気動向による影響を懸念も、傾向としては国内外共に段ボール原紙・家庭紙を軸とした生産拡大が想定され、 当社製品の底堅い需要が見込まれる 。
工業用事業 	半導体需要の先行きに不透明感あるも、5G関連の基板需要が当初の業界予測より2年程度遅れの 2023年度から拡大する との見方が強い。	

海外マーケット環境（紙・板紙生産量）

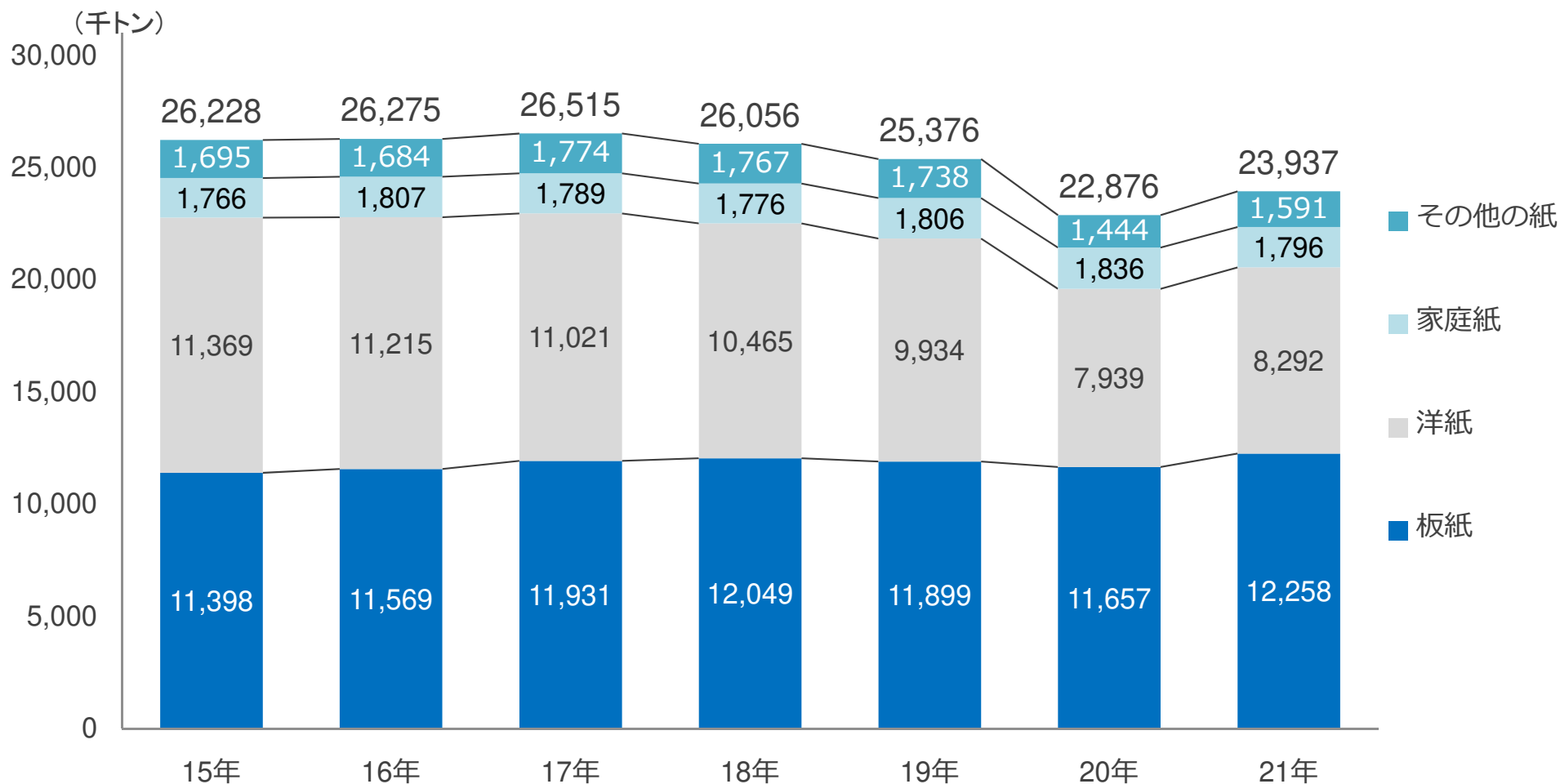
世界合計では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により3年連続減。
 品種別では洋紙は減少も、板紙・家庭紙を中心に生産は堅調。



出典：15~20年はFUTURE誌を基に当社作成、

国内マーケット環境（紙・板紙生産量）

- ・2020年、新型コロナウイルスの影響により経済・社会活動が停滞し生産量が大きく落ち込んだが、2021年は24百万トン水準まで回復した。
- ・品種別では洋紙は減少も、板紙・家庭紙を中心に生産は堅調



※「洋紙」=新聞用紙+印刷・情報用紙、「その他の紙」=包装用紙+雑種紙

出典：日本製紙連合会

工業用事業

- 抄紙用具関連事業の製造技術応用により開発した工業用フェルトの製造販売
- 高耐熱や高強度の特徴を持つ高機能繊維を原料として開発された製品
- アルミ押出業界、プリント基板業界、製鉄業界などの生産現場で使用



対象業界: 建材・自動車 等
代表製品: サーモテックス

500℃以上の高温で成型されたアルミ材
に傷・歪みをつけず搬送
→高耐熱性、搬送性に優れる



アルミサッシ



自動車ボディ



対象業界: 半導体、建材 等
代表製品: エースボード

プリント基板や建材などを高温で
プレス・成型する際に使用
→高耐熱性、クッションの持続性に優れる



プリント基板



スマートフォン、タブレット

優れたコストパフォーマンス

- ① 豊富なクッション性の維持：ロングライフ
- ② 環境対応：廃棄物の大幅削減
- ③ 作業性の改善：工数の大幅削減
- ④ ノンガス：有害ガスの発生がない

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

イチカワ株式会社
総務部IR担当

〒113-8442 東京都文京区本郷2-14-15
TEL: 03-3816-1111